

## ニカラグア定期報告（2018年11月）

### 【要旨】

内政面では、国家警察が反政府側の抗議デモ開催を不許可とした他、明年3月のカリブ沿岸自治区選挙の候補者届け出が締め切られ、与野党が候補者リストを最高選管に提出した。外交面では、米国がムリージョ副大統領とネストル・モンカダ（大統領・副大統領の側近）への制裁を発動し、ニカラグア政府が制裁を非難するプレスリリースを発表した。経済面では、S & P社及びフィッチレーティングス社がニカラグアの信用格付けを引き下げた。

### 【主な出来事】

#### 1 抗議デモの封じ込め

(1) 路上での抗議デモが完全に封じ込められたことから、青と白の国民連合（UNAB）は、安全なショッピングセンターのフードコートでデモを開催するようになったが、警察は、ショッピングセンター内に入り込んで取締りを行った。

(2) これまで反政府側は、デモは憲法で保障された権利であるとして、デモ開催に係る許可を求めてこなかったが、こうした状況を受け、UNABは、警察にデモ開催の許可を求めることを決め、女性に対する暴力撤廃国際デー（25日）にあわせたデモ行進の許可を求める文書を国家警察に提出した。

(3) 23日、国家警察は、許可を申請した者達はテロ行為とクーデター目的の道路封鎖を継続するためにショッピングセンターで蛮行を働いたとし、デモ開催を不許可とした上、「クーデターの試みに加担した者達の動員に対して、国家警察は今後も許可を与えない。」と、将来のデモ開催も認めない姿勢を示した。

(4) 民間企業最高審議会（COSEP）は、デモ・集会を行う権利は憲法第54条で保障されていると述べた上で、警察法上、警察に与えられている権限は市民の生活への影響等を考慮してデモの開催場所を調整することのみであり、主催者の如何を理由に警察の裁量で不許可とすることは認められないと批判した。

#### 2 ALBA政務理事会の開催

(1) 8日、ニカラグア外務省において、第17回米州ポリバル同盟（ALBA）政務理事会が開催され、モンカダ・ニカラグア外相、ゴンサルベス・セントビンセント首相、アレサ・ベネズエラ外相、パリ・ボリビア外相、チョケワンカALBA事務総長（元ボリビア外相）他が出席した。

(2) 同会議では、「同盟発足15年に向けて」と題した宣言が採択された（主要点以下）。

- ア NATOが最近ラ米カリブのいくつかの国に対してプレゼンスと協力を増強すると発表したことにつき、懸念を表明する。右は地域の平和・安全にとっての潜在的脅威である。
- イ 米国の現政権に、ラ米移民が米国社会にもたらしてきた重要な貢献を想起する。
- ウ 帝国の不安定化戦略に抵抗するニカラグア国民を支持する。ニカラグア国民は、米国の域外適用法案による度重なる脅しを恐れることはない。
- エ 経済・金融封鎖に耐え続けるベネズエラ政府・国民への完全な支持を表明する。米国、EU、カナダによる一方的制裁は、ボリバル革命をむしろ強固にしている。
- オ ボリビア国民・政府の海への出口に係る歴史的かつ正当な権利への支持を確認する。チリとボリビアに対し、ICJ判決の枠組みにおいて、ボリビアの閉塞状態を解決するための対話を再開するよう求める。
- カ キューバに対する経済・通商・金融封鎖の無条件の解除を求める国際社会の呼びかけを改めて強調する。
- キ ベネズエラ等の主権・自決権・憲法秩序に対する攻撃を試みるOAS事務総長といくつかの国による組織的介入行動を拒否する。
- ク 第16回ALBA首脳会合は、(本年)12月14日にハバナで開催する。

### 3 カルロス・フォンセカ没後42周年記念式典

(1) 8日夜、革命広場(マナグア市内)において、オルテガ大統領、ムリージョ副大統領、及びALBA政務理事会に出席した各国代表の列席の下、カルロス・フォンセカ没後42周年記念式典が開催された。

(2) 同式典では、オルテガ大統領が演説を行い、欧米のラ米・アフリカへの介入政策を批判した他、ニカラグアの状況について、「ここには政府を批判したり、脅迫したことで逮捕された者は1人もいない。逮捕されている者達は、欧米のNGOの支援を受け何百人ものニカラグア人を拷問・殺害した者達である。」と述べた。

### 4 カリブ沿岸自治区選挙の候補者届け出

20日、来年3月3日に行われる南北カリブ沿岸自治区議会議員選挙(北カリブ45議席、南カリブ45議席)に出馬する候補者の届け出が締め切られた。与党サンディニスタ民族解放戦線(FSLN)及びその連合政党、並びに立憲自由党(PLC)、自由のための市民たち(CxL)、母なる大地の子(YATAMA)他各野党は、20日までに候補者リストを最高選挙管理委員会(CSE)に提出した。

### 5 ドイツ外務副大臣の来訪

(1) アンネン独外務副大臣(社会民主党)は、10月31日から11月2日までニカラグアを訪問し、オルテガ大統領・ムリージョ副大統領・モンカダ外務大臣と会談を行った他、カトリック教会や反政府側の関係者とも会合を行った。

(2) アンネン副大臣は、「全ての関係者から、理解に向けた道筋を検討するという基本的な意志が示されたことは、歓迎すべきことである。ドイツは引き続きニカラグア情勢を注視し、要望があれば積極的なサポートを提供するつもりである。」と述べた。

(3) また、ハンブルグ出身のアンネン副大臣は、同市の姉妹都市であるニカラグアのレオン市を訪問し、ドイツの支援によって同市に整備された消防署が現在も使用されている様子を視察した。

## 6 サリバン米大使の着任

(1) 14日、サリバン駐ニカラグア米大使(前OAS米代表部次席)が着任し、モンカダ外務大臣を表敬し、信任状写しを提出した。

(2) 同日、在ニカラグア米大使館はプレスリリースを発出し、信任状写を提出した旨を伝えた他、「サリバン大使は、民主主義、繁栄、安全の促進というニカラグアにおける米国の任務を継続することを望んでいる。」と表明した。

## 7 モンカダ外務大臣のイペロアメリカ首脳会合出席

(1) モンカダ外務大臣は、16日にグアテマラで開催された第26回イペロアメリカ首脳会合にニカラグア代表として出席して演説を行い、2007年以降(第二次オルテガ政権下)のニカラグアの経済成長や貧困削減の成果を強調した。

(2) 首脳会合において、アルバラド・コスタリカ大統領はニカラグア危機に言及、「我々は、兄弟国ニカラグアで起きていることを懸念し、心を痛めている。」、「(ニカラグアの)重大な事態に対し、国際社会がバイ・マルチの有効なツールを活用するよう呼びかける。」と述べた他、ニカラグアの(中断したままの)国民対話について、「公正で平等な社会を求める人々の心にだけ響き渡るエコーとなってしまった。」と述べた。

(3) モンカダ外務大臣は、アルバラド大統領の発言に反発し、「アルバラド大統領の発言は、ニカラグア国民の主権・独立・自決を尊重していない。」、「米国の駒の役目を続けている。」、「貴国こそ、ストライキと警察による抑圧で燃えさかっている。」等と非難した。

## 8 米国の対ニカラグア制裁

(1) 27日、米国政府は、同日付大統領令に基づき、ムリージョ副大統領及びネストル・モンカダ(大統領・副大統領の側近)に対し、資産凍結や米国への渡航禁止を含む制裁を発動した。

(2) 同日、米上院本会議において、対ニカラグア制裁法案「2018年ニカラグア人権・反汚職法」が可決された。

(3) 同日午後、ニカラグア政府は、米国の制裁を非難するプレスリリースを発出した（概要以下）。

ア 本27日米国政府が大統領令を通じて発出した決定を断固拒否する。

イ 米帝国のニカラグアに対する歴史的・継続的介入を断固拒否する。

ウ アンドレス・カストロ、ベンジャミン・セレドン、（アウグスト・）サンディーノ、カルロス・フォンセカ（注：いずれも、米国の介入や親米独裁に抵抗したニカラグアの英雄）の英雄的遺産の名において、我々の主権と独立への権利を宣言する。

エ ニカラグアの全ての英雄と殉教者の荒ぶる魂の名において、我々が無敵の民族で、決して屈しないこと、そして自由な祖国を求めることを宣言する。

オ 米国の帝国主義的な見方と行動、並びに売国奴達の隷従を明らかにする全ての非難について、不適切、無節操、無礼、虚偽、そして不法なものであると宣言する。

カ （ルベン・）ダリオが言ったように、米国は何でも手に入れることができるかもしれないが、1つだけ足りないものがある。それは神である！

キ 祖国に対する裏切り者は誰か。サンディーノはこう答えた、政治的目的のために国の誇りを売り渡すニカラグア人である。

ク サンディーノは、祖国と自由を唱えた。愛し、守り、大砲の音が鳴り響くことなく（注：ニカラグア国歌の一節）光り輝くための祖国である。

## 9 モンカダ外務大臣の訪台

(1) モンカダ外務大臣、カスティージョ青年大臣他からなる一行は、25日にニカラグアを出発し、台湾を訪問した。台湾に到着した一行は、呉台湾外交部長の出迎えを受けた。

(2) 27日、モンカダ大臣は、蔡英文総統を表敬し、オルテガ大統領・ムリージョ副大統領からの挨拶のメッセージを伝達した。蔡総統は、最近発表された6つの対ニカラグア協力新規案件に言及しつつ、両国間の連帯を強調した他、ニカラグアの経済発展のためのプログラムを支援していく意志を表明した。

(3) また、モンカダ大臣は、陳台湾副総統を表敬した他、台湾国際合作発展基金会（ICDF）本部を訪問し、ニカラグアで実施中のICDFの協力プロジェクトについて意見交換を行った。

## 10 信用格付けの引下げ

(1) 9日、S&P社は、ニカラグアの長期ソブリン格付けを「B」から「B-」に引き下げた。経済見通しについては、「ネガティブ」を維持。また、短期ソブリン格付けは「B」を維持。外国為替評価については、「B+」から「B-」へ引き下げた。

(2) 27日、フィッチレーティングスは、ニカラグアの外貨建て長期発行体デフォルト格付けを「B」から「B-」に引き下げた。

<主要経済指標>

	2016年	2017年	2018年		
			9月	10月	11月
インフレ率（対前年同月）	3.1%	5.7%	5.1%	5.1%	4.4%
貿易収支（百万ドル）	△3,227.6	△3,113.1	△206.1	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,226.4	2,548.3	176.9	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	5,453.9	5,661.4	383.0	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,264.1	1,390.8	121.7	128.9	125.4
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,447.8	2,757.8	2,301.6	2,260.1	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）